

図 11 のべ総労働時間分布（実数）  
 ([青]：リスク評価実施あり，[赤] リスク評価実施なし)

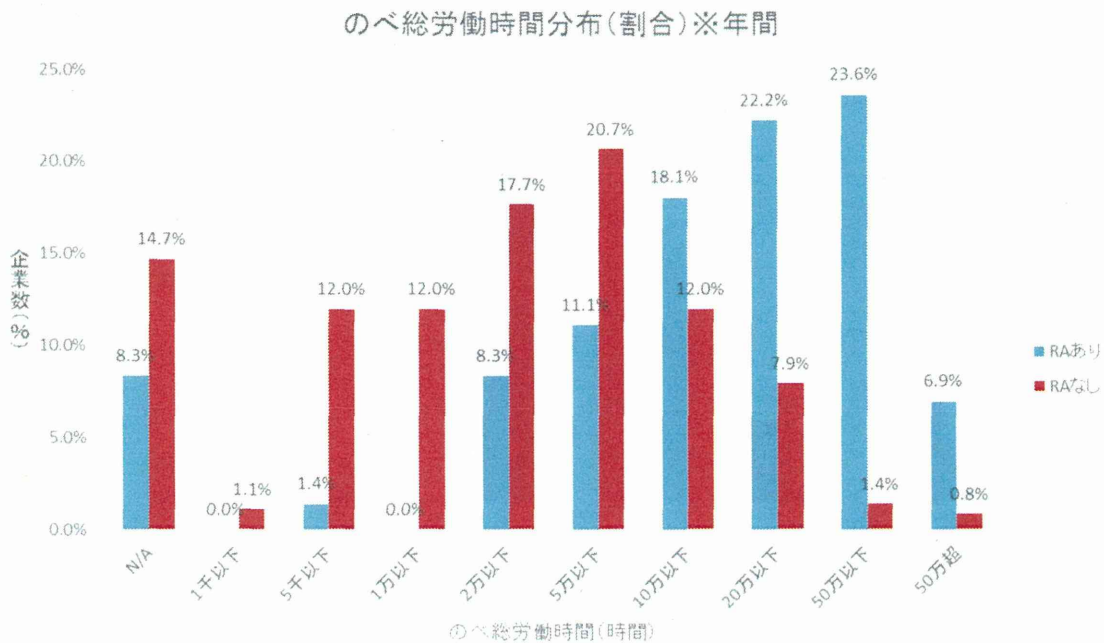


図 12 のべ総労働時間分布（割合）  
 ([青]：リスク評価実施あり，[赤] リスク評価実施なし)

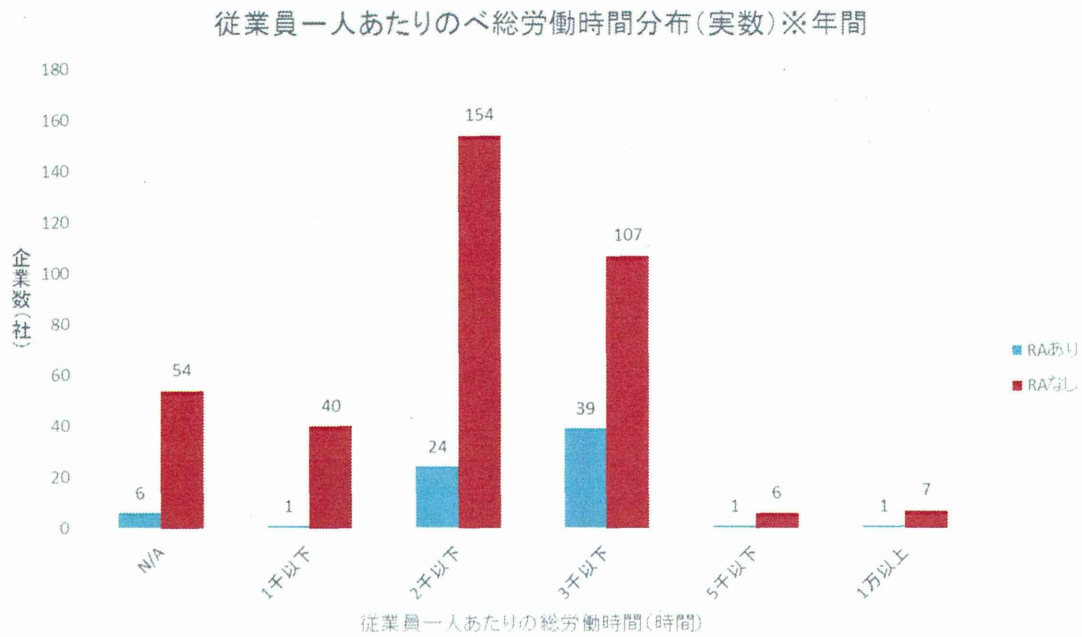


図 13 従業員一人あたりのべ総労働時間分布（実数）  
 ([青]: リスク評価実施あり, [赤] リスク評価実施なし)

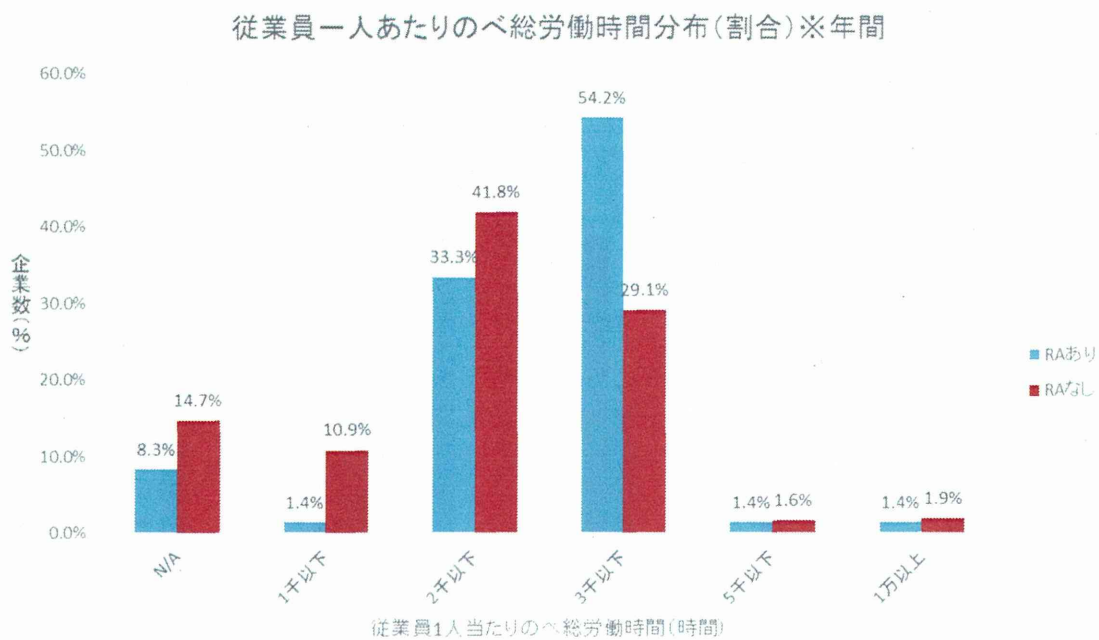


図 14 従業員一人あたりのべ総労働時間分布（割合）  
 ([青]: リスク評価実施あり, [赤] リスク評価実施なし)

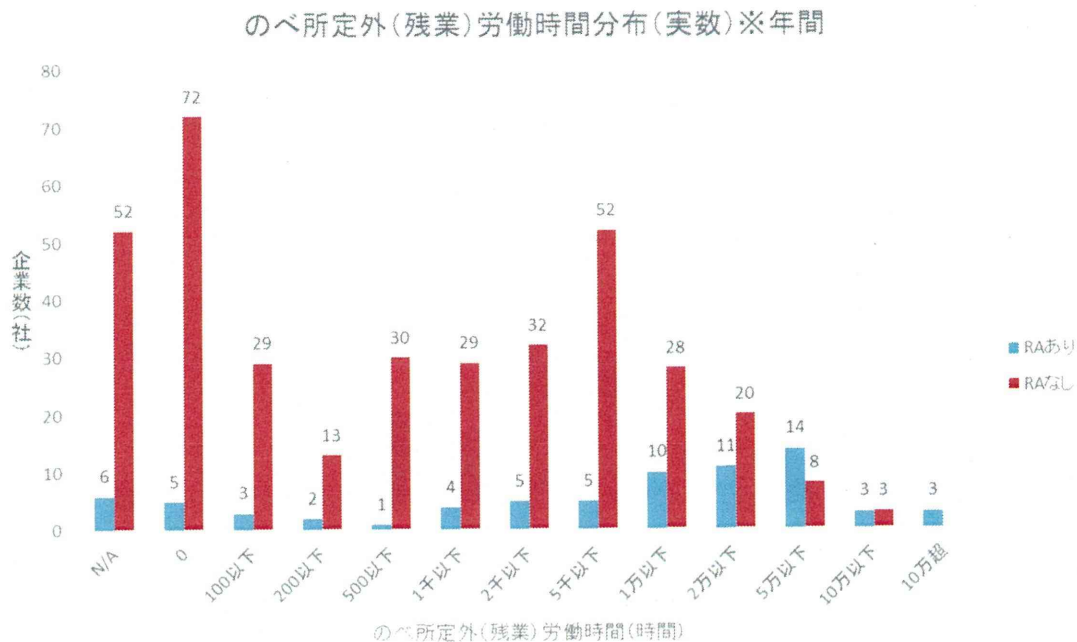


図 15 のべ所定外(残業)時間分布(実数)※年間  
 ([青]: リスク評価実施あり, [赤] リスク評価実施なし)

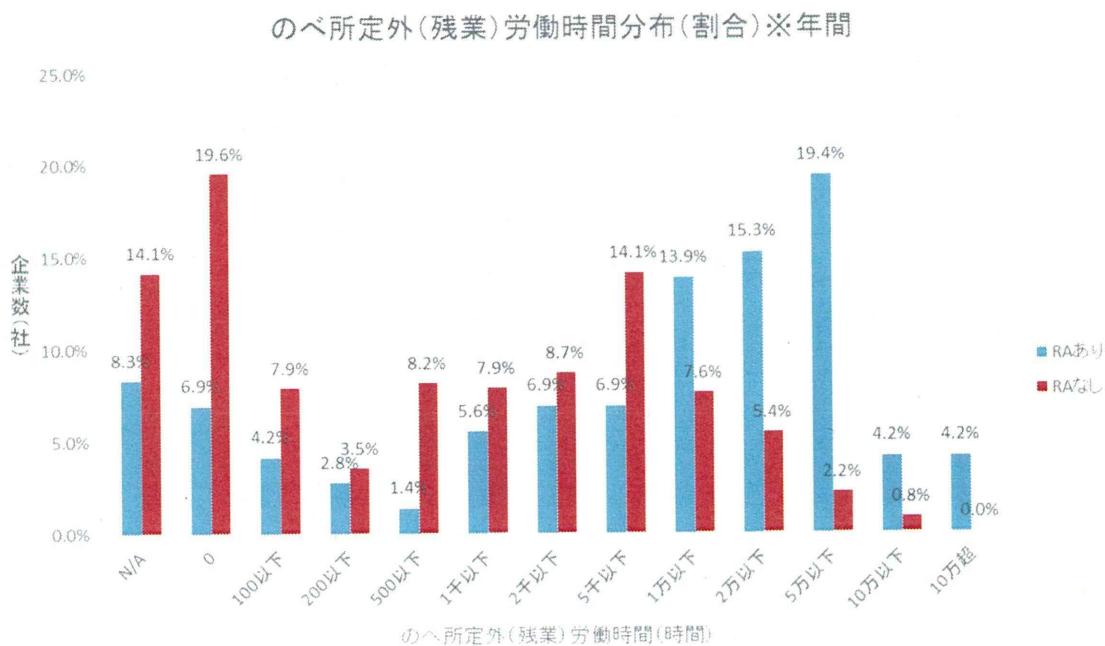


図 16 のべ所定外(残業)時間分布(割合)※年間  
 ([青]: リスク評価実施あり, [赤] リスク評価実施なし)

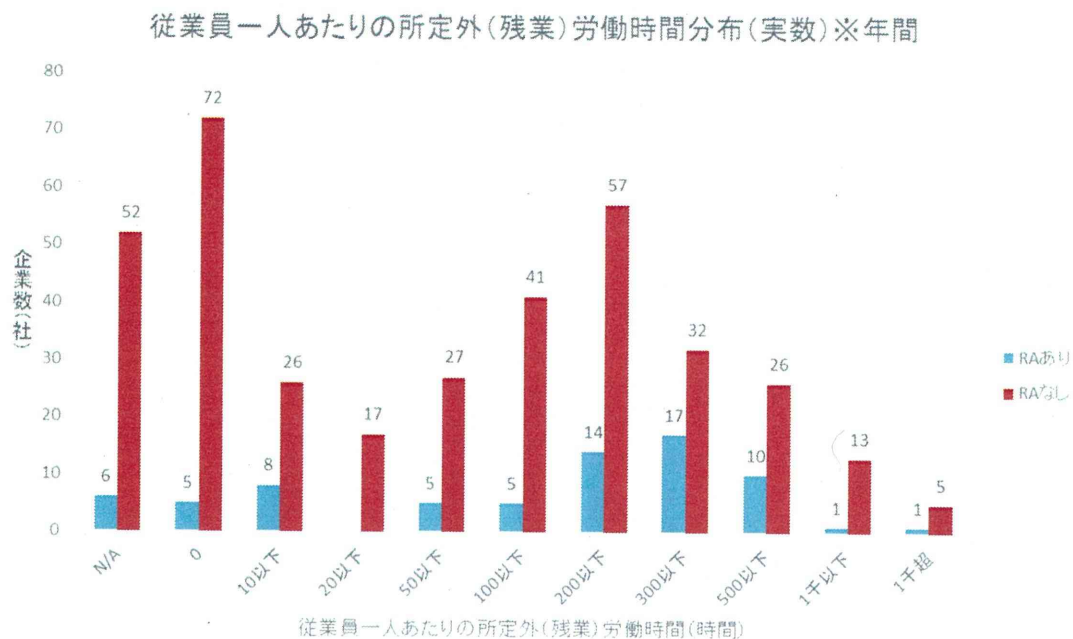


図 17 従業員一人あたりの所定外(残業)時間分布(実数)※年間  
 ([青]: リスク評価実施あり, [赤] リスク評価実施なし)

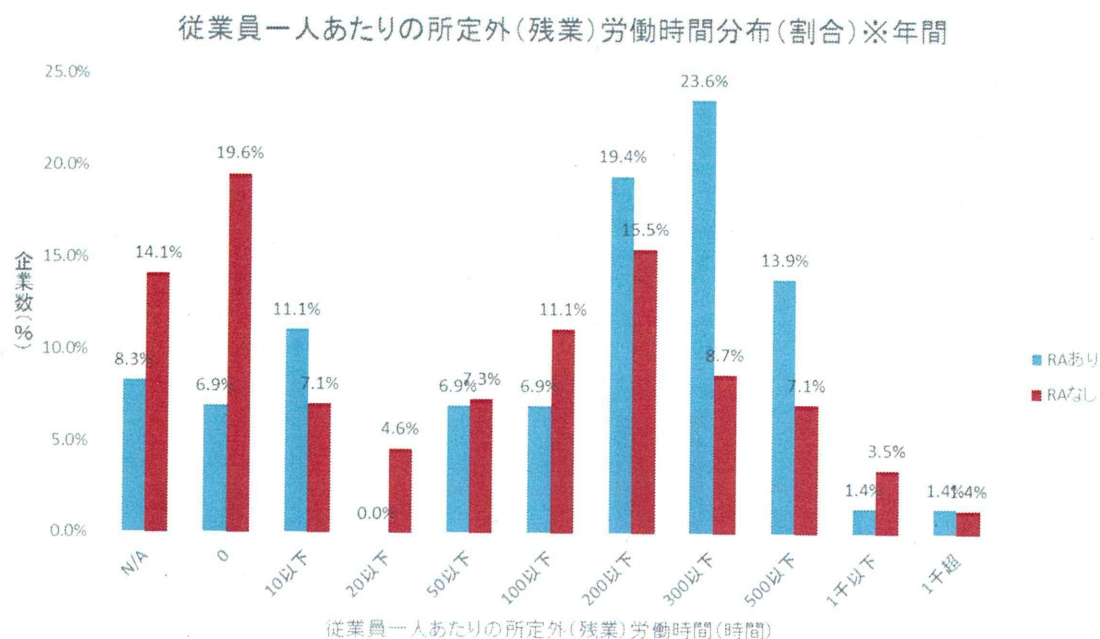


図 18 従業員一人あたりの所定外(残業)時間分布(割合)※年間  
 ([青]: リスク評価実施あり, [赤] リスク評価実施なし)

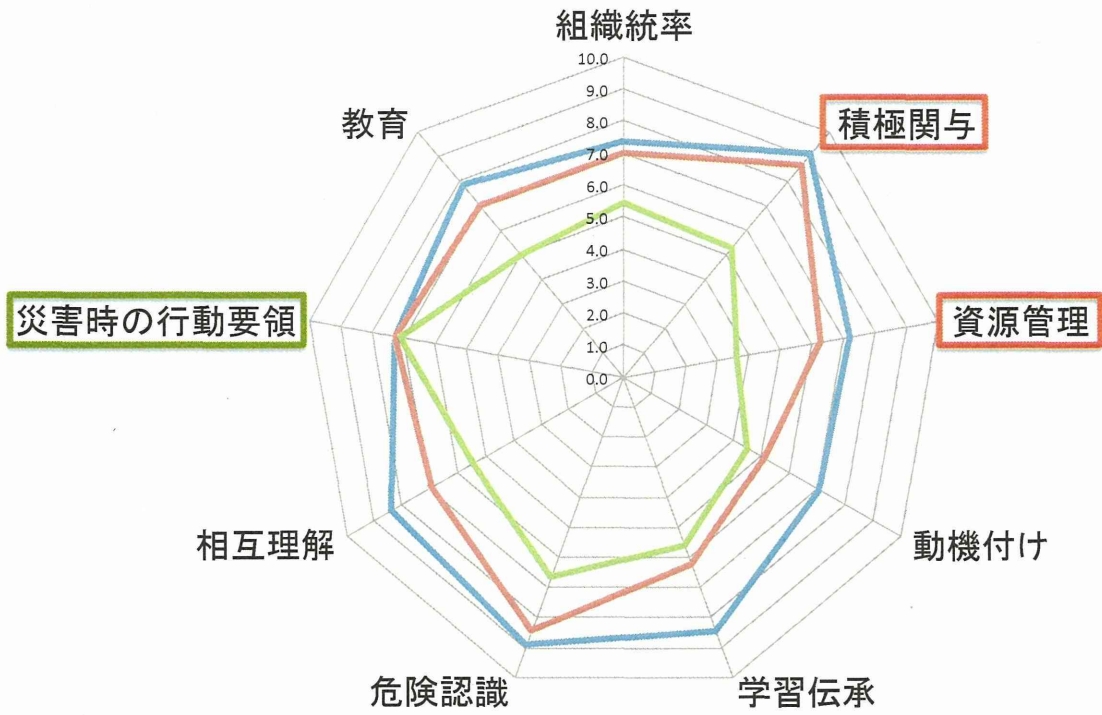


図 19 簡易リスクアセスメント結果

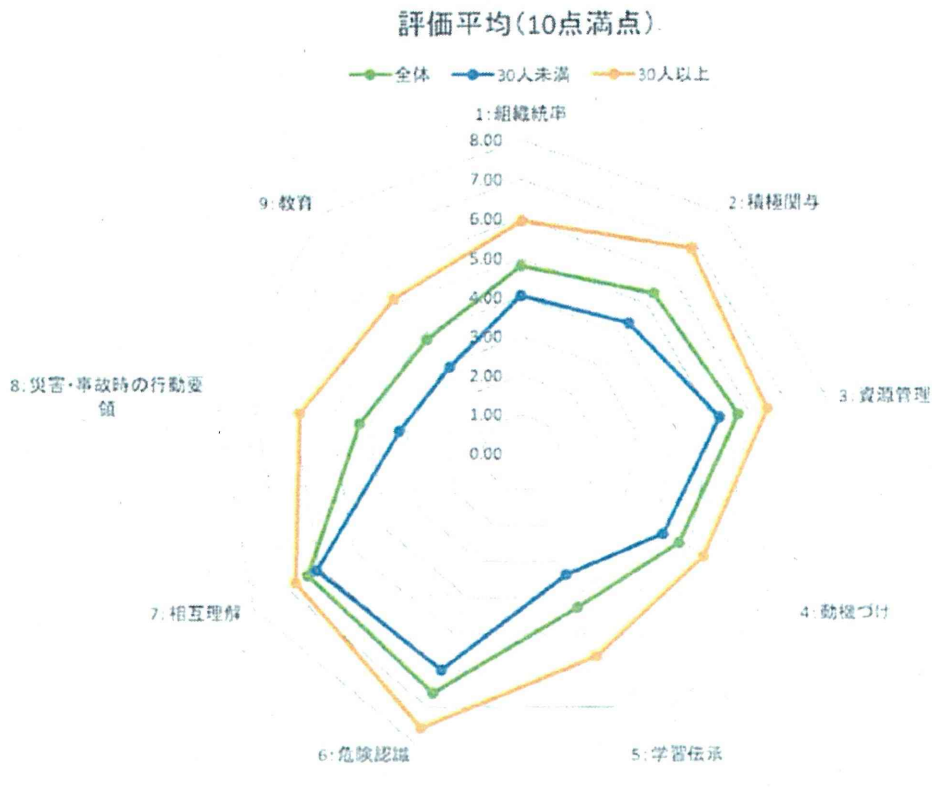


図 20 簡易リスクアセスメント結果（企業規模別）

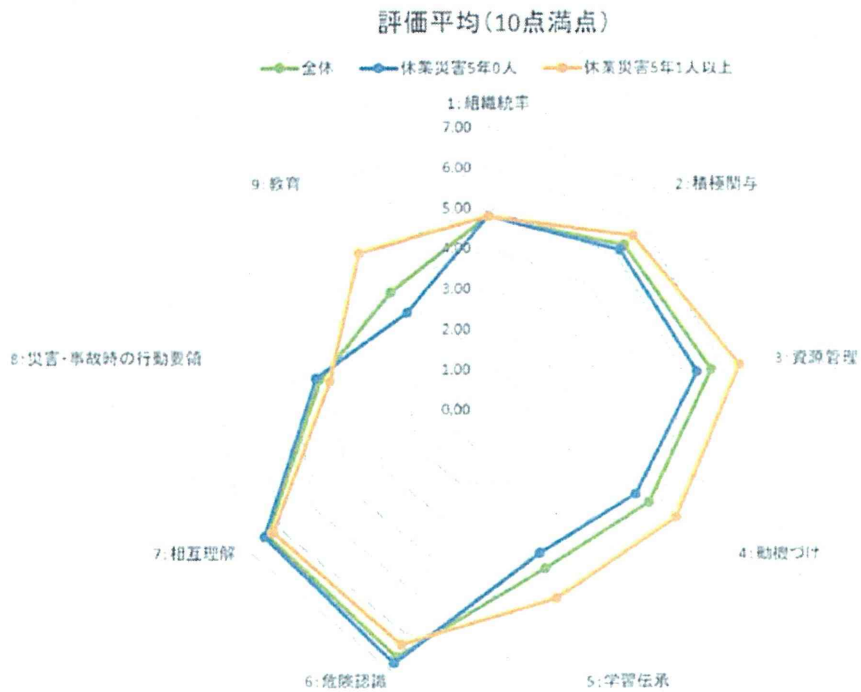


図 21 簡易リスクアセスメント結果（労働災害発生別）



付録①リスクアセスメントに関する質問票

**調査票Aの1**

1. 貴事業場の設立年をご記入下さい。 (年)に○をつけて下さい 明治・大正・昭和・平成・西暦 年

2. 貴事業場の業種を下記の中から選択しその番号を右にご記入下さい。「24その他」である場合は「24」と記入した上で具体的な業種を番号の右にご記入ください。 その他の場合、具体的な業種を記入

01 食品製造業	09 石油製品・石炭製品製造業	17 はん用機械器具製造業
02 飲料・たばこ・飼料製造業	10 プラスチック製品製造業	18 生産用機械器具製造業
03 繊維工業	11 ゴム製品製造業	19 業務用機械器具製造業
04 木材・木製品製造業(家具を除く)	12 なめし革・同製品・毛皮製造業	20 電子部品・デバイス・電子回路製造業
05 家具・装備品製造業	13 窯業・土石製品製造業	21 電気機械器具製造業
06 パルプ・紙・紙加工品製造業	14 鉄鋼業	22 情報通信機械器具製造業
07 印刷・同関連業	15 非鉄金属製造業	23 輸送用機械器具製造業
08 化学工業	16 金属製品製造業	24 その他 ※具体的な業種を記入

3. 下記のリスクアセスメントについての解説を読み、以下の質問に当てはまる回答の数字に○(マル)をつけて下さい。

**【解説】** リスクアセスメントとは、労働災害や事故が起こる可能性と、災害や事故が発生した場合のケガの大きさが、どの作業に潜んでいるかを調査(洗い出し・見積り・評価)し、適切なリスク低減対策を実施することです。平成18年4月の労働安全衛生法の改正により、事業者はリスクアセスメントを導入し、労働災害を未然に防止することが努力義務事項となりました。

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)
(1)あなたは上記のことをこの解説を読む前に知っていましたか。	1 知らなかった 2 知っていた
(2)リスクアセスメント実施にはいくつかのプロセスがあります。そのひとつである「リスク評価」を知っていますか。	1 聞いた事がない 2 聞いた事があるが中身はよく知らない 3 中身をおおよそ知っている 4 よく知っている
(3)リスクアセスメントの研修会やセミナーなどに参加したことがありますか。	1 参加したことがある ⇒質問(4)及び(5)回答後、調査票Aの2へ 2 参加したことがない ⇒質問(6)回答後、調査票Aの2へ
(4)上記(3)で研修会やセミナーに「1 参加したことがある」とご回答の方にご質問します。セミナーに参加したのはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 リスクアセスメントを実施したかったから 2 リスクアセスメントの効果が期待できたから 3 リスクアセスメントをもっと知りたかったから 4 事故を減らしたかったから 5 安全衛生対策に不安があったから 6 必要を感じたから 7 親会社・本社・上長(経営者)からの指示 8 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)
(5)上記(3)で研修会やセミナーに「1 参加したことがある」とご回答の方にご質問します。セミナーに参加してどう思いましたか。1から5まですべてについて「はい」または「いいえ」のどちらかに○(マル)をつけて下さい。その他思ったことがあれば6にご記入ください。  →次に調査票Aの2へ	1 リスクアセスメントについてよく理解できた はい・いいえ 2 知りたかったことを知ることができた はい・いいえ 3 すぐにリスクアセスメントを導入できると思った はい・いいえ 4 自事業場でもリスクアセスメントを導入しようと思った はい・いいえ 5 リスクアセスメントの導入は無理だと思った はい・いいえ 6 その他思ったことをご自由にご記入下さい
(6)上記(3)で研修会やセミナーに「2 参加したことがない」とご回答の方にご質問します。これまで研修会やセミナーに参加しなかったのはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)  →次に調査票Aの2へ	1 セミナーがあると知らない・聞いた事がない 2 開催地が遠方だった 3 日程が合わなかった 4 内容に対し参加費用が高額だった 5 上長(経営者)の理解が得られなかった 6 特に必要を感じなかった 7 参加する意義が全く感じられなかった 8 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

※「調査票Aの2」へお進みください

調査票Aの2

質問	回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)
(7)貴事業場において、労働災害を防止又は減らすために、安全衛生対策を実施することは必要だと思いますか。	1 必要だと思わない 質問(8)回答後、質問(9)へ(以降順次回答) 2 必要だと思う ⇒ 質問(9)へ(以降順次回答) 3 分からない ⇒ 質問(9)へ(以降順次回答)
(8)上記(7)で安全衛生対策の実施は「1 必要だと思わない」とご回答の方にご質問します。それはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 労働災害があまり起きていないから 2 安全衛生対策を行っても効果があると思わないから 3 その他 (下記に具体的な内容をご記入下さい)
(9)貴事業場において、労働災害を防止又は減らすために、リスクアセスメントは効果があると思いますか。	1 とても効果があると思う(導入すると事故がかなり減る) 2 まあまあ効果があると思う(導入すると事故が多少減る) 3 あまり効果がないと思う(導入してもあまり事故が減らない) 4 全く効果がないと思う(導入しても全く事故が減らない/事故の増減には影響がない)
(10)リスクアセスメントを実施したことはありますか。当てはまる回答の数字に○をつけて下さい。	1 今まで一度も実施したことがない ⇒質問(12)から順次回答後、【調査票B(水色の用紙)】へ 2 着手したことがあるが中断した(完了しなかった) ⇒質問(11)から順次回答後、【調査票B(水色の用紙)】へ 3 実施したことがある ⇒質問(12)から順次回答後、【調査票C(ピンクの用紙)】へ 4 現在実施中である ⇒質問(12)から順次回答後、【調査票C(ピンクの用紙)】へ
(11)上記(10)でリスクアセスメントを「2 実施したことがあるが中断した(完了しなかった)」とご回答の方にご質問します。それはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 実施途中で人員が割り当てられなくなった出来事が起きたから 2 実施途中で時間が割り当てられなくなった出来事が起きたから 3 実施途中で予算が割り当てられなくなった出来事が起きたから 4 実施途中であまり効果がないと思ったから中止した 5 当初の予想より時間がかかることがわかったから中止した 6 当初の予想より費用がかかることがわかったから中止した 7 当初の予想より実施方法や手順が難しいと思ったので中止した 8 その他 (下記に具体的な内容をご記入下さい)
(12)リスクアセスメント以外の労働安全衛生対策を行っていますか。当てはまる回答の数字に○をつけて下さい。行っている場合は、内容も具体的にご記入ください。	1 行っていないし実施の具体的な予定もない ⇒質問(13)を回答後、次の調査票へ 2 行っていないが実施の具体的な予定がある ⇒次の調査票へ <small>具体的な内容をご記入ください</small> 3 行っている ⇒次の調査票へ <small>具体的な内容をご記入ください</small>
(13)上記(12)でリスクアセスメント以外の労働安全衛生対策を「1 行っていないし具体的な予定もない」とご回答の方にご質問します。それはなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	1 リスクアセスメントを実施しているから 2 行政からの要請・指示がないから 3 親会社・本社・上長(経営者)からの要請・指示がないから 4 労働災害があまり起きていないから 5 具体的に何を実施すればよいかわからないから 6 実施したいことがあるが人員・時間を割けないから 7 実施したいことがあるが費用が捻出できないから 8 その他 (下記に具体的な内容をご記入下さい)

リスクアセスメントを実施したことがない・中断した→調査票Aの3を記入後、調査票B(水色の紙)へ  
 リスクアセスメントを実施したことがある・実施中→調査票Aの3を記入後、調査票C(ピンクの紙)へ



調査票Aの3

4. 2013年(1月～12月)の売上高(年商)をお答えください。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(2,856万7,250円の場合⇒28 560 000)※右詰め
5. 2013年(1月～12月)の営業利益(粗利)をお答えください。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(552万2,788円の場合⇒5 520 000)※右詰め
6. 2013年の常用労働者についてお答えください。

	0000
	0000

2013年	常用労働者数			実労働時間数(※休憩時間は除く)					
	(1)12月末日時点では何人でしたか。	(2)うち、パートタイム労働者は何人でしたか。	(3)うち、派遣労働者は何人でしたか。	(4)1年間の所定内労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(5)うち、パートタイム労働者の1年間の所定内労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(6)うち、派遣労働者の1年間の所定内労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(7)1年間の所定外労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(8)うち、パートタイム労働者の1年間の所定外労働時間の合計は延べ何時間でしたか。	(9)うち、派遣労働者の1年間の所定外労働時間の合計は延べ何時間でしたか。
2013年									

下記の計算式に、上記の(1)。(4)及び(7)を当てはめて、合計数に誤りがないかご確認ください。

$$\begin{array}{r}
 \text{(4)1年間の所定内労働時間の合計} \\
 \text{時間} \quad \div \\
 \hline
 \end{array}
 \quad
 \begin{array}{r}
 \text{(1)12月末日時点での常用労働者数} \\
 \text{人} \\
 \div 12 \div 20 = \text{(ア)} \\
 \text{時間}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \text{(7)1年間の所定外労働時間の合計} \\
 \text{時間} \quad \div \\
 \hline
 \end{array}
 \quad
 \begin{array}{r}
 \text{(1)12月末日時点での常用労働者数} \\
 \text{人} \\
 \div 12 \div 20 = \text{(イ)} \\
 \text{時間}
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \text{(ア)} \\
 \text{時間} \\
 + \\
 \hline
 \text{(イ)} \\
 \text{時間} \\
 = \text{(ウ)} \\
 \text{時間}
 \end{array}$$

(ア)は、貴事業場における、1人あたりの1日の所定内労働時間の平均を表しています(※1ヶ月の労働日数を20日として計算)。(ア)が8時間を超える場合は、(1)の常用労働数や(4)の所定内労働時間の合計に誤りがないが、再度ご確認ください。

(イ)は、貴事業場における、1人あたりの1日の所定外労働時間(残業時間)の平均を表しています(※1ヶ月の労働日数を20日として計算)。(ア)と(イ)の合計(ウ)は、1人あたりの1日の実労働時間の平均を表しています。(ウ)が24時間を超えることは理論上ありえません。

※労働者数が11月までに比較して12月に大幅に減少した場合は、上記計算式に当てはめても正常な値にならないことがあります。その場合は、1月から12月までの全労働者数の合計を平均してご記入ください。(詳しい内容はホームページをご参照ください)

ご記入後は  
 リスクアセスメントを実施したことがない・中断した→調査票B(水色の紙)へ  
 リスクアセスメントを実施したことがある・実施中→調査票C(ピンクの紙)へ

調査票Bの1

※調査票Aの2質問(10)において「1 今まで一度も実施したことがない」もしくは「2 着手したことがあるが中断した(完了しなかった)」を選択した場合にご回答いただく調査票です。

当てはまる数字に○をつけて下さい(いくつでも) ↓	最も大きな理由に○をつけて下さい(一つだけ) ↓
1. リスクアセスメントを実施していない理由はなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)  また、○(マル)をつけた中で最も大きな理由となっているものについて、右端の欄に○をつけて下さい。(ひとつだけ)	1 リスクアセスメントがどんなものなのかよくわからない
	2 難しそうな気がする
	3 具体的な実施方法が分からない
	4 上長(経営者)の理解が得られない
	5 組織内での合意・協力が得られない
	6 導入に必要な資料が入手できない
	7 同業他社の好事例等の情報が入手できない
	8 体制が整備できない
	9 知識のある人材が用意できない
	10 導入に必要な時間が確保できない
	11 導入に必要な予算が確保できない
	12 導入しても効果がありえないと思う
	13 労働災害があまり発生してないので必要ない
	14 法令義務の範囲内で対策は十分なので必要ない
	15 既存対策で十分なので必要ない
	16 親会社・本社からの要請・指示がない
	17 上長(経営者)からの要請・指示がない
	18 行政からの要請・指示がない
	19 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

2. 差支えなければ、現在の預貯金額(または直近の決算時の流動資産額)をご記入下さい。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(2,856万7,250円の場合⇒28 560 000)

0	0	0	0	0
---	---	---	---	---

3. 事業所の2006年(平成18年)から2013年(平成25年)までの労働災害状況等をご回答ください。

労働災害件数	財政状況(資金繰り等)				製造現場の忙しさ				
	1	2	3	4	1	2	3	4	
(1)1日以上の休業を伴う労働災害件数を記入 (2)上記(1)のうち、4日以上休業を伴う労働災害件数を記入 ※労働災害がなかった年は空欄にせず「0」記入 ※設立年より前の年については空欄のまま	かなり余裕があった	まあまあ余裕があった	あまり余裕がなかった	全く余裕がなかった	かなり忙しかった	まあまあ忙しかった	あまり忙しくなかった	全く忙しくなかった	
	当てはまる数字に○(マル)をつけて下さい								
2006年(平成18年)									2006年(平成18年)
2007年(平成19年)									2007年(平成19年)
2008年(平成20年)									2008年(平成20年)
2009年(平成21年)									2009年(平成21年)
2010年(平成22年)									2010年(平成22年)
2011年(平成23年)									2011年(平成23年)
2012年(平成24年)									2012年(平成24年)
2013年(平成25年)									2013年(平成25年)

※「調査票Bの2」へお進みください

調査票Bの2

※調査票Aの2質問(10)において「1 今まで一度も実施したことがない」もしくは「2 着手したことがあるが中断した(完了しなかった)」を選択した場合にご回答いただく調査票です。

4. 貴事業場がこれまでに実施したことがある安全衛生対策についてご回答ください。

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)
これまでに何らかの安全衛生対策を実施したことがありますか。	1 ない(→これにてアンケートは終了です)
	2 ある(→次の質問5に回答後、アンケート終了です)

5. 調査対象となる事業場について、過去実施した(または現在も実施中である)すべての安全衛生対策を最大10個まで記入し、それぞれ労働災害への効果について、当てはまる数字に○(マル)をつけてください。またそれぞれ導入した年には該当マスに○(マル)を、2013年末現在で実施していないものについては、やめた年の該当マスに×(バツ)をご記入ください。

いままで行ったことのある安全衛生対策 (10個まで)	それぞれの対策の 効果について 当てはまる数字に ○(マル)を つけてください。				導入した年に○(マル)をつけて下さい。 2013年末時点では実施していないものにつ いてはやめた年に×(バツ)をつけて下さい。 ※導入とやめた年が同じ場合、ひとつの枠内 に○と×をご記入下さい。 ※2013年末時点で実施継続中のものには、 ×を付ける必要はありません(○のみ)。									
	1 とても 効果が あった	2 まあ まあ 効果が あった	3 あまり 効果が なかつた	4 全く 効果が なかつた	2005年 より以前	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	
1	1	2	3	4										
2	1	2	3	4										
3	1	2	3	4										
4	1	2	3	4										
5	1	2	3	4										
6	1	2	3	4										
7	1	2	3	4										
8	1	2	3	4										
9	1	2	3	4										
10	1	2	3	4										

※以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。

調査票Cの1

※調査票Aの2質問(10)において「3 実施したことがある」もしくは「4 現在実施中である」を選択した場合にご回答いただく調査票です。

1. リスクアセスメントを導入(初めて実施)したのはいつですか。

年毎に○をつけて下さい	平成	西暦	年	月	頃
-------------	----	----	---	---	---

2. 差支えなければ、導入時の予算金額(または導入に最も近い決算時の流動資産額)をご記入下さい。万円未満は切り捨ててご記入下さい。(856万7,250円の場合⇒8 560 000)

8	7	6	5	4	3	2	1	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3. 以下の質問の当てはまる回答の数字に○(マル)をつけて下さい。(ひとつだけ)

質問	↓ 回答(当てはまる数字に○をつけて下さい)(ひとつだけ)
(1) リスクアセスメントを初めて知ったきっかけは何ですか。当てはまる回答の数字に○(マル)をつけて下さい。	1 行政からの通知
	2 親会社・本社からの通知
	3 同業他社の通知
	4 業種協会・団体等からの通知
	5 上長(経営者)からの通知
	6 リスクアセスメント関連のセミナーへの参加
	7 業界紙・新聞・テレビ等を読んで
	8 インターネットで情報を見て
	9 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)
(2) リスクアセスメントを導入して、労働災害は減りましたか。	1 かなり減った
	2 まあまあ減った
	3 あまり減らなかった
	4 全く減らなかった
	5 分からない
(3) 導入にあたり厚生労働省の「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」(リスクアセスメント指針)に従って実施しましたか。	1 指針通りに実施していない
	2 指針通りに実施した

4. 以下の質問の当てはまる回答の数字に○(マル)をつけ、最も当てはまるものの右欄に○(マル)をつけて下さい。

当てはまる数字に○をつけて下さい(いくつでも)	↓	最も大きな理由に○をつけて下さい(ひとつだけ)	↓
(1) リスクアセスメントを実施した理由はなぜですか。当てはまる回答すべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも) また、○(マル)をつけた中で最も大きな理由となっているものについて、右端の欄に○をつけて下さい。(ひとつだけ)	1	行政からの要請・指示があった	
	2	所属団体からの要請・指示があった	
	3	親会社・本社からの要請・指示があった	
	4	上長(経営者)からの要請・指示があった	
	5	リスクアセスメントが努力義務事項だから	
	6	導入により労働災害が減ると思ったから	
	7	既存の安全衛生対策だけでは不十分だと思ったから	
	8	労働災害が発生していたから	
	9	同業他社による好事例があったから	
	10	その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)	

※「調査票Cの2」へお進みください

調査票Cの2

※調査票Aの2質問(10)において「3 実施したことがある」もしくは「4 現在実施中である」を回答した場合にご回答いただく調査票です。

5. 下記のリスクアセスメントについての解説を読み、以下の質問の当てはまる回答の数字に○(マル)をつけ、最も当てはまるものの右欄に○(マル)をつけて下さい。

当てはまる数字に○をつけて下さい(いくつでも) ↓	最も大変だったことに○をつけて下さい(ひとつだけ) ↓
	1 必要な実施体制の整備・維持
	2 教育研修の実施
	3 リスクアセスメント実施要領の作成
	4 リスクアセスメント対象の選定
	5 リスクアセスメント対象の情報の入手
	6 危険性又は有害性の特定
	7 リスクの見積もり
(2)リスクアセスメントを実施する上でどのようなことが大変でしたか。当てはまる回答のすべての数字に○(マル)をつけて下さい。(いくつでも)	8 リスクの優先度の設定(評価)
	9 リスク低減措置の検討
	10 リスク低減措置の実施
また、○(マル)をつけた中で最も大変だったことについて、右端の欄に○をつけて下さい。(ひとつだけ)	11 記録の作成・保存
	12 予算の獲得・維持
	13 リスクアセスメントの実施にかかる時間の確保
	14 会社組織内での合意
	15 経営トップの理解を得ること
	16 安全衛生スタッフの能力向上
	17 ライン管理監督者の協力を得ること
	18 その他(下記に具体的な内容をご記入下さい)

6. リスクアセスメント導入前5年間、導入年、導入後5年間、及び昨年2013年(平成25年)の労働災害状況等をご回答ください。

労働災害件数	財政状況(資金繰り等)				製造現場の忙しさ						
	1	2	3	4	1	2	3	4			
(1)1日以上の休業を伴う労働災害の件数を記入 (2)上記(1)のうち、4日以上の休業を伴う労働災害の件数を記入 ※労働災害がなかった年は空欄にせず「0」記入 ※設立年より前の年については空欄のまま	かなり余裕があった	まあまあ余裕があった	あまり余裕がなかった	全く余裕がなかった	かなり忙しかった	まあまあ忙しかった	あまり忙しくなかった	全く忙しくなかった			
	当てはまる数字に○(マル)をつけて下さい										
	(1)1日以上休業の件数	(2)4日以上休業の件数									
5年前			1	2	3	4	1	2	3	4	5年前
4年前			1	2	3	4	1	2	3	4	4年前
3年前			1	2	3	4	1	2	3	4	3年前
2年前			1	2	3	4	1	2	3	4	2年前
1年前			1	2	3	4	1	2	3	4	1年前
導入年			1	2	3	4	1	2	3	4	導入年
1年後			1	2	3	4	1	2	3	4	1年後
2年後			1	2	3	4	1	2	3	4	2年後
3年後			1	2	3	4	1	2	3	4	3年後
4年後			1	2	3	4	1	2	3	4	4年後
5年後			1	2	3	4	1	2	3	4	5年後
2013年 (平成25年)			1	2	3	4	1	2	3	4	2013年 (平成25年)

※「調査票Cの3」へお進みください

調査票Cの3

※調査票Aの2質問(10)において「3 実施したことがある」もしくは「4 現在実施中である」を回答した場合にご回答いただく調査票です。

7.調査対象となる事業場について、過去実施した(または現在も実施中である)すべての安全衛生対策(リスクアセスメントを含む)を最大10個まで記入し、それぞれ労働災害への効果について、当てはまる数字に○(マル)をつけてください。またそれぞれ導入した年には該当マスに○(マル)を、2013年末現在で実施していないものについては、やめた年の該当マスに×(バツ)をご記入ください。

いままで行ったことのある安全衛生対策 (10個まで)	それぞれの対策の 効果について 当てはまる数字に ○(マル)を つけてください。				リスクアセスメントを導入した年を基準(導入年)として導入した年に○(マル)をつけて下さい。 2013年末時点では実施していないものについてはやめた年に×(バツ)をつけて下さい。 ※導入とやめた年が同じ場合、ひとつの枠内に○と×をご記入下さい。 ※2013年末時点で実施継続中のものには、×を付ける必要はありません(○のみ)。												
	1	2	3	4	6年前より以前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	リスクアセスメント導入年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	6年後から以降
1	1	2	3	4													
2	1	2	3	4													
3	1	2	3	4													
4	1	2	3	4													
5	1	2	3	4													
6	1	2	3	4													
7	1	2	3	4													
8	1	2	3	4													
9	1	2	3	4													
10	1	2	3	4													

※以上でアンケートは終了です。ありがとうございました。

付録②

労働災害防止対策に関するアンケート調査  
（厚生労働科学研究費補助金の助成事業）

# 回答ガイド

この回答ガイドを見ながら  
調査票（別紙）にご記入ください。

【お問い合わせ先】

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
安全科学研究部門（担当：牧野良次）  
〒305-8569 茨城県つくば市小野川 16-1  
TEL: 029-861-8934  
FAX: 029-861-8730  
E-mail: [toiawase-ml@aist.go.jp](mailto:toiawase-ml@aist.go.jp)



## 回答ガイド

このアンケート調査は、厚生労働省科学研究費補助金の助成により、御社の職場環境の安全（主に労働災害の防止に関する取り組み）についてお聞きするためのものです。社長あるいは工場長など、御社の安全に関する取り組みについてよくご理解されている立場の方にお答えいただけますよう是非ともお願いいたします。

お答えいただいた調査結果は研究目的に限り使用いたします。御社のお名前や質問への回答結果が公表されるようなことは絶対にありませんので、正直な状況をお答えいただければ幸いです。

なお、調査にご協力いただいた企業には、先着の1000社様を対象としてQUOカード1000円分を謝品として進呈させていただきます。ご回答のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 1. お送りした内容物の確認

お送りした封筒には下記のものが入封されております。まずご確認ください。

- 調査のお願い（1枚）
- 調査票（ホチキスどめ冊子1冊）
- 回答ガイド（本紙、ホチキスどめ冊子1冊）
- 返信用封筒（1通）

### 1. 御社にお願いすることの概要

- こちらから送付した書類のうちの「調査票」という冊子を読みながら質問に回答していただきます。質問文の右側に「×」「△」「○」を表す欄がありますので、該当する部分にチェックを入れて下さい（「✓」というマークなどを書き込んで下さい）。
- ×は「できていない」、△は「ややできている」、○は「できている」を表します。
- 調査票の表紙にQUOカードの返送先をご記入いただく欄がございますので、そちらに必要事項をご記入下さい。
- 回答、QUOカードの返送先のご記入が終わった調査票をこちらから送付した返信用封筒に入れ、ご投函下さい。切手は不要です。

調査票の中身、読み方、回答の仕方などについてこれから詳しくご説明しますので、引き続き「2. 回答方法の詳しい説明」をお読み下さい。

## 2. 回答方法の詳しい説明

調査票の1ページから10ページをパラパラとめくってみてください。各ページの左上に「大項目」という文字が見えます。例えば1ページの左上には「大項目1 組織統率」と書かれています。この調査票のアンケートは質問内容に応じて9つの大項目に分かれています。各大項目の質問内容はおおよそ以下のようになっています。

- 大項目1 【組織統率】安全に関する御社の理念・方針などについてお聞きします。
- 大項目2 【積極関与】御社の幹部や社員の、安全活動への参加についてお聞きします。
- 大項目3 【資源管理】御社の安全対策に関する予算や人員配置についてお聞きします。
- 大項目4 【動機づけ】社員のやる気を引き出すための御社の取組みをお聞きします。
- 大項目5 【学習伝承】御社内での安全に関する学習状況についてお聞きします。
- 大項目6 【危険認識】御社がどのように社内の安全を向上させているかお聞きします。
- 大項目7 【相互理解】御社内での幹部や社員同士の交流についてお聞きします。
- 大項目8 【災害・事故時の行動要領】災害時の行動計画についてお聞きします。
- 大項目9 【教育】御社の社員教育についてお聞きします。

大項目はいくつかの「中項目」に分かれ、中項目はさらにいくつかの「小項目」に分かれています。この小項目がアンケート問題になっていて、先ほど説明したように、この小項目のひとつひとつに対して「×」「△」あるいは「○」のチェックを入れてもらうということになります。図1に示したように、中項目は1.1のように2桁の番号が付けられており、小項目には1.1.1のように3桁の番号が付けられています。

これが小項目

大項目1 組織統率		×	△	○
中項目	小項目			
1.1 安全に関する理念・方針の明確化	1.1.1 安全に関する社長の理念・方針 (安全関係の理念・方針がありますか?/従業員に周知されていますか?)			
	1.1.2 安全に関する理念・方針の現場での実現 (理念・方針が形骸化することなく実際に活用されていますか?)			
	1.1.3 安全活動実績(*1)の改善計画(*2)への反映 (安全活動実績を管理していますか?/改善計画に反映していますか?)			
	1.1.4 現場からの意見・要望の社長への伝達 (意見・要望を伝達する仕組みがありますか?/仕組みが形骸化することなく活用されていますか?)			
1.2 安全管理部	1.2.1 安全管理担当者(オシノケガリ)の他部署からの独立性			

これが中項目

図1 中項目と小項目

大項目1から9に含まれる小項目の数を合計すると、全部で91問あります。さきほど小項目ごとに×もしくは△もしくは○のチェックを入れてもらうと言いましたが、結局、全部で91問の質問にチェックを入れてもらうことになります（ボールペンなどで書き込んでいただいて結構です）。これまでの経験では、1時間から1時間半程度ですべて質問にチェックを入れることができますと思います。例えば、チェックを入れた後は、下の図2のような状態になります。これはあくまで例ですので、実際に回答する際は下の解説を読みながら、御社の状況について回答して下さい。

大項目1 組織統率		×	△	○
中項目	小項目			
1.1 安全に関する理念・方針の明確化	1.1.1 安全に関する社長の理念・方針 (安全関係の理念・方針がありますか?/従業員に周知されていますか?)	✓		
	1.1.2 安全に関する理念・方針の現場での実現 (理念・方針が形骸化することなく実際に活用されていますか?)		✓	
	1.1.3 安全活動実績(*1)の改善計画(*2)への反映 (安全活動実績を管理していますか?/改善計画に反映していますか?)			✓
	1.1.4 現場からの意見・要望の社長への伝達 (意見・要望を伝達する仕組みがありますか?/仕組みが形骸化することなく活用されていますか?)	✓		
1.2 安全管理部	1.2.1 安全管理担当者(オシノケガリ)の他部署からの独立性			

図2 チェックを入れた状態の例

さて、次にそれぞれの小項目にどのように回答していくかを説明します。まず例として小項目 1.1.1 をあげます。小項目 1.1.1 は以下のようになっています。

1.1.1 安全に関する社長の理念・方針  
(安全関係の理念・方針がありますか？／授業員に周知されていますか？)

上の四角で囲んだ中の「1.1.1」の右に書かれている「安全に関する社長の理念・方針」はこの小項目のタイトルであると考えて下さい。つまり、小項目 1.1.1 は御社の「安全に関する社長の理念・方針」についてお聞きします、ということです。

その下にカッコ（）で囲まれてスラッシュ（／）で区切られた 2 つの質問があります。各小項目への回答を考えると、まずこのカッコ内の 2 つの質問について御社の状況を考えて下さい。その上で、次のような基準で「×」なのか、「△」なのか、あるいは「○」なのかを判断して、該当する欄にチェックを入れて下さい。

- ・質問への答えが両方とも「いいえ」であるとき⇒ ×（できていない）にチェック
- ・どちらかの質問だけ「はい」のとき⇒ △（ややできている）チェック
- ・質問への答えが両方とも「はい」であるとき⇒ ○（できている）チェック

小項目 1.1.1 の例では、例えば以下ようになります。もし御社に「安全関係の理念・方針」があり（つまりこの質問への答えが「はい」）、かつ、それが「従業員に周知されている」なら（つまりこの質問への答えが「はい」）、両方とも「はい」という答えになりますので「○」の欄にチェックを入れる、ということになります。

△を付ける場合、×を付ける場合も、上と同様の考え方にしがたって判断して下さい。

実際に回答していて困るのは、小項目 1.1.1 で言えば「安全関係の理念・方針とは何のことだろうか？何をもって理念・方針と定義するのだろうか？」ですとか、「周知とはどういう状態を指すのだろうか？」といったことだと思います。この点についてはあまり深く考えずに、極端に言えば「だいたい」でお答えになって下さって結構です。

例えば社長が「安全第一」と書いた紙を事務所の壁に貼り付け、それを社員に対して毎日注意喚起しているとしましょう。それを「理念・方針がある」とお考えになるなら、そう判断していただいて結構です。何をもって理念・方針と捉えるかに画一的な正解がある訳ではありません。ご自身の判断で考え、その答えをもとに○、△、×を選んで下さい。

また、2つの質問について両方とも、「できているとも言えないし、できていないとも言えない」という状況でしたら△を付けていただいて結構です。『2つ「いいえ」なら×にする』といった判断基準は、○、△、×のどれを選ぶかの判断を助けるために便宜上設けているものです。まとめますと、以下のような手順で考えて、○、△、×を決めていただきたいと思います。

- (1) まずは5ページ中ほどに示した判断基準で○、△、×が付けられるかどうかを考えて下さい。
- (2) その基準で付けられない場合、2つの質問をよく読んだ上で、フィーリングで○、△、×を選んでもらって結構です。

なお、例外的に、カッコのなかに質問が1つしかない小項目があります。下図を見て下さい。小項目 1.1.1.にはカッコの中に質問が2つありますが、小項目 1.1.2.にはカッコの中に質問が1つしかありません。その場合は、その質問に対する「達成度合い」でチェックして下さい。

○) の中に質問が2つ

大項目1 組織統率	中項目	小項目	×	△	○
1.1 安全に関する理念・方針の明確化	1.1.1 安全に関する社長の理念・方針 (安全関係の理念・方針がありますか?/従業員に周知されていますか?)	1.1.1.1			
		1.1.1.2			
		1.1.1.3			
		1.1.1.4			

○) の中に質問が1つ

図3 質問が2つの小項目と、質問が1つの小項目の例